

伊豆縦貫自動車道（あまぎ ゆがしま天城湯ヶ島～かわづ河津）
第2回 計画段階評価

国土交通省 中部地方整備局

平成29年3月27日

目 次

1. 第1回意見聴取の結果 2
2. 第2回意見聴取の調査票(案) 12

1. 第1回意見聴取の結果

1. 第1回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要②

■新聞や自治体広報紙への掲載、道路利用者アンケート調査票常設箇所等へのポスターの掲示を実施。

■新聞広告(平成28年10月1日(土)の静岡新聞・伊豆新聞他に掲載)

ご協力下さい 国道414号(天城湯ヶ島～河津)の課題と道路整備に関するご意見をお待ちしております。

伊豆縦貫自動車道は、沼津市から下田市までの延長約60kmの高規格幹線道路です。今回、一般国道414号の天城湯ヶ島から河津までの区間の計画にあたり、皆さまのご意見をお聴きするためアンケートを実施しております。(伊豆市、河津町、下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町の各世帯にアンケート調査票を郵送配布しております。)

実施期間:平成28年10月17日(月)まで

質問の内容
皆さまが日々感じている国道414号(天城湯ヶ島～河津)の課題、求められる道路の役割などについてお聴かせください。

回答方法(以下の3種類あります)

- ①伊豆市、河津町、下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町にお住まいの方は、郵送書類に同封される「郵便はがき」にて回答を記入し、投函してください。
- ②伊豆地域の方は最寄りの市役所、町役場および伊豆半島内の「道の駅」に「伊豆縦貫自動車道の計画に関する第1回アンケート」のコーナーを設けていますので、こちらでも回答できます。(市役所・町役場…伊豆市、河津町、下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町(「道の駅」…天城越え、花の三聖苑伊豆松崎、伊東マリンタウン、開国下田みなと、伊豆のへそ、下賀茂温泉の花、くらら戸田)
- ③下記HPからもアンケートに回答できます。
http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/road/route414/road414_questionary.html

国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 調査第二課

お問い合わせ先 〒410-8567 静岡県沼津市下香貫外原3244-2 TEL.055-934-2010(直通)
受付時間:月曜日～金曜日(土日祝日を除く) 9:00～17:00

■ポスター
(道路利用者アンケート調査票常設箇所等に掲示)

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画に関する第1回アンケート

本アンケートは、伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画にあたり、皆さまの生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆さまのご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。
本アンケートは全2回行い、1回目となる本調査では、伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)について、地域の皆さまが日々感じられている道路交通面での課題や、地域に求められる道路の役割等について、ご意見を伺いたく、ご協力をお願いいたします。
回答いただいた内容は、国土交通省沼津河川国道事務所集計を行います。

伊豆縦貫自動車道は、延長約60kmの高規格幹線道路です。

- ・伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島の骨格を形成し、地域の「命の道」となる延長約60kmの高規格幹線道路です。
- ・伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)は、天城北道路と河津下田道路の間に位置する道路です。

このアンケートの対象は、天城湯ヶ島～河津の区間です。

お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
沼津河川国道事務所 調査第二課
〒410-8567 静岡県沼津市下香貫外原3244-2
電話: 055-934-2010(直通)
受付時間: 月曜日～金曜日(土日祝祭を除く) 9:00～17:00
ホームページ: <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>

■自治体広報誌(広報伊豆、広報かわづ、広報しもだ、広報まつざき、広報にしいず、広報ひがしいず、広報みなみいず)の10月号に掲載)

伊豆縦貫自動車道に関する意見をお聴かせください

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画にあたり、地域の皆さまからのご意見をお聴きするため、アンケートを実施しています。各世帯にアンケート調査票が郵送されますので、皆さまが日々感じている対象区間の課題や求められる道路の役割などについてのアンケートへご協力をお願いします。

回答方法 ①郵送書類に同封されている「郵便はがき」に回答を記入し、投函してください。②生きたいプラザ、および伊豆半島内の「道の駅」に「伊豆縦貫自動車道の計画に関する第1回アンケート」のコーナーを設けていますので、こちらでも回答できます。③沼津河川国道事務所ホームページからもアンケートに回答できます。(http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/road/route414/road414_questionary.html)

問合せ
国土交通省 沼津河川国道事務所調査第二課
☎055(934)2010

▲広報伊豆10月号

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の課題と道路整備に関するご意見をお聞かせください

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画にあたり、国土交通省沼津河川国道事務所が、地域の皆さまからのご意見をお聴きするため、アンケートを実施しております。

各世帯にアンケート調査票が郵送されますので、皆さまが日頃感じている対象区間の課題や求められる道路の役割などについてのアンケートへご協力をお願いいたします。

【回答方法】

- ①郵送書類に同封されている「郵便はがき」に回答を記入し、投函してください。
- ②河津町役場へもコーナーを設けていますので、こちらでも回答できます。
- ③最寄りの市役所、町役場および伊豆半島内の「道の駅」に「伊豆縦貫自動車道の計画に関する第1回アンケート」のコーナーを設けていますので、こちらでも回答できます。
- ④下記HPからも回答できます。
http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/road/route414/road414_questionary.html

問合せ
国土交通省 中部地方整備局
沼津河川国道事務所調査第二課
〒410-8567 沼津市下香貫外原3244-2
☎055-934-2010
受付時間: 月～金曜日 9時～17時
(土日祝祭日を除く)

▲広報かわづ10月号

1. 第1回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要③

■アンケート調査項目を踏まえた意見聴取の内容

■質問事項

- 道路の課題
- 道路に求められる機能・役割
- その他自由意見

天城湯ケ島～河津間の国道414号に関する現在の問題点や解消すべき課題について

質問1 天城湯ケ島～河津間の国道414号には、どのような交通課題があると思いますか？
以下の①～⑥の交通課題について、**5段階評価**してください。

<5段階評価> 5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

- ①地震や津波などの災害が発生した際に、救援ルートや物資輸送ルートの確保に懸念がある
- ②大雨や土砂くずれ、倒木による通行止めが多い
- ③高度な医療ができる順天堂大学静岡病院や沼津市立病院まで遠く時間がかかる
- ④観光期の渋滞がひどい
- ⑤急カーブ、急な坂、道路幅が狭いなどの箇所が多く、走りづらい
- ⑥交通事故が多い
- ⑦その他(自由回答)

地域の道路に求められる機能・役割について

質問2 天城湯ケ島～河津間の国道414号に求める道路の役割や機能は何ですか？
地域の将来も踏まえ、以下の①～④の道路機能について、**5段階評価**してください。

<5段階評価> 5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

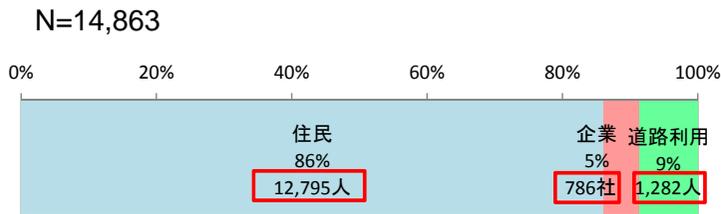
- ①災害時に安全・確実に機能する道路ネットワークが確保されること
- ②救急病院への移動や広域的な救急搬送が短時間にできること
- ③観光客が円滑に移動できること
- ④安全・快適に走行できること
- ⑤ その他(自由回答)

質問3 その他、この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

1. 第1回意見聴取の結果 2)属性①

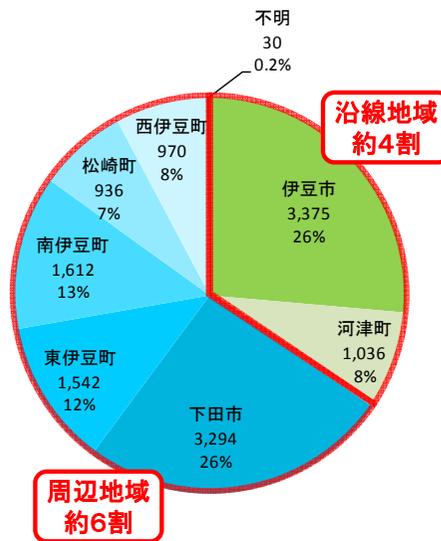
- 住民約12,800人、企業約800社、道路利用者約1,300人から意見聴取を実施。
- 住民アンケートは、沿線地域である伊豆市と河津町からの回答が約4割を占める。
- 回答者の性別は男性が約7~8割を占め、年代別に見ると住民アンケートは世帯主と想定される60~70代からの回答が約7割を占め、道路利用者アンケートは20~70代の各年代の方からバランスよく回答をいただいた。

アンケート回収状況

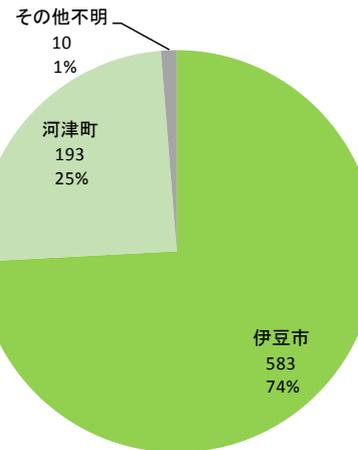


住所

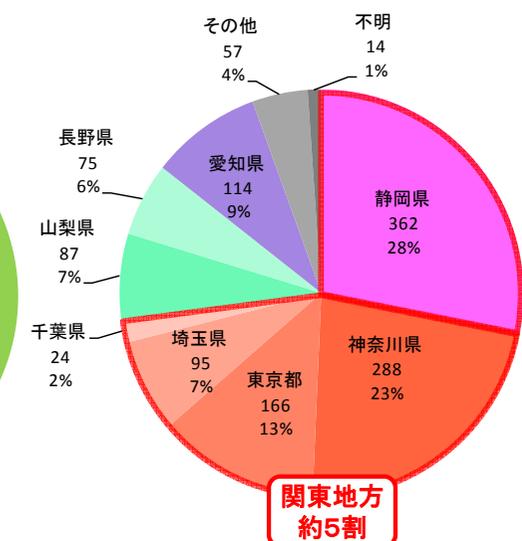
住民 N=12,795



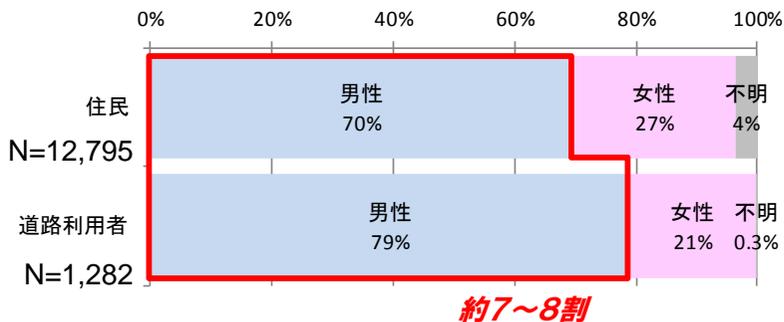
団体 N=786



道路利用者 N=1,282



性別



年齢

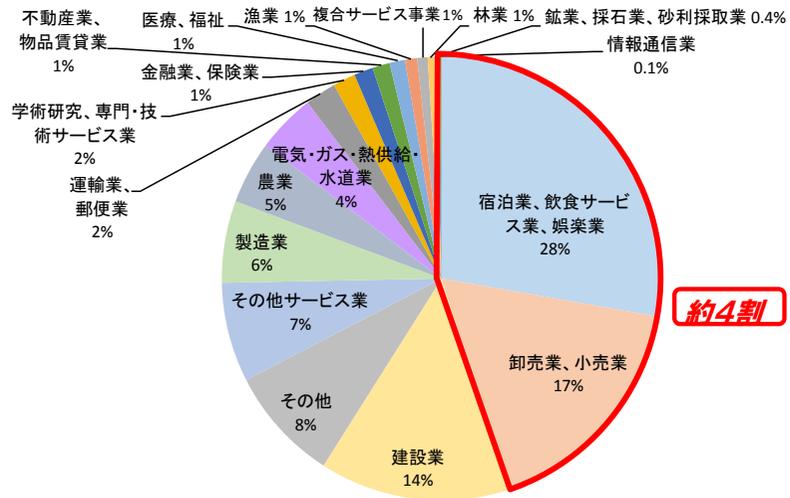


1. 第1回意見聴取の結果 2)属性②

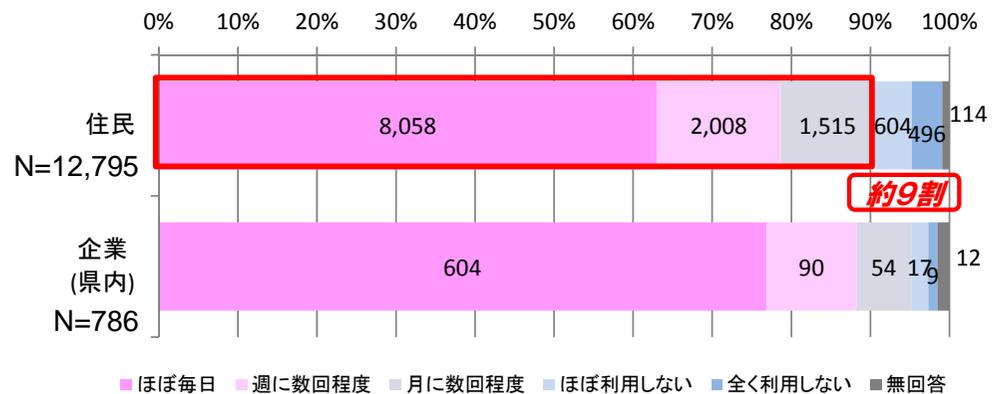
- 団体アンケートは、観光に関わる「宿泊業・飲食サービス業」、「卸売業・小売業」からの回答が約4割。
- 住民の約9割が自動車を「月数回以上利用している」と回答。
- 住所（市町）別では、河津町、伊豆市の利用頻度が高く、次いで、下田市、南伊豆町の利用頻度が高い。
- 住民の利用目的は、「通勤・通学」、「買い物」、「業務」、「通院等」、「観光・娯楽」が主目的で多岐に渡り、道路利用者は「観光・娯楽」、「業務」が主目的。

業種

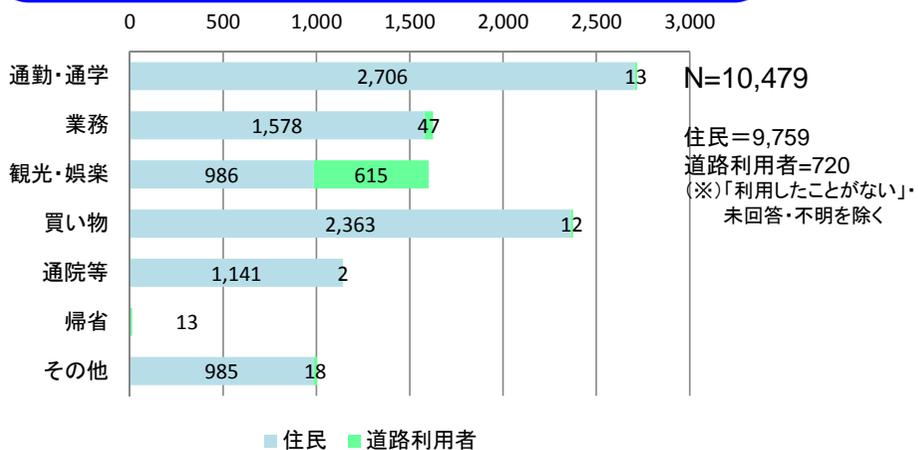
N=786



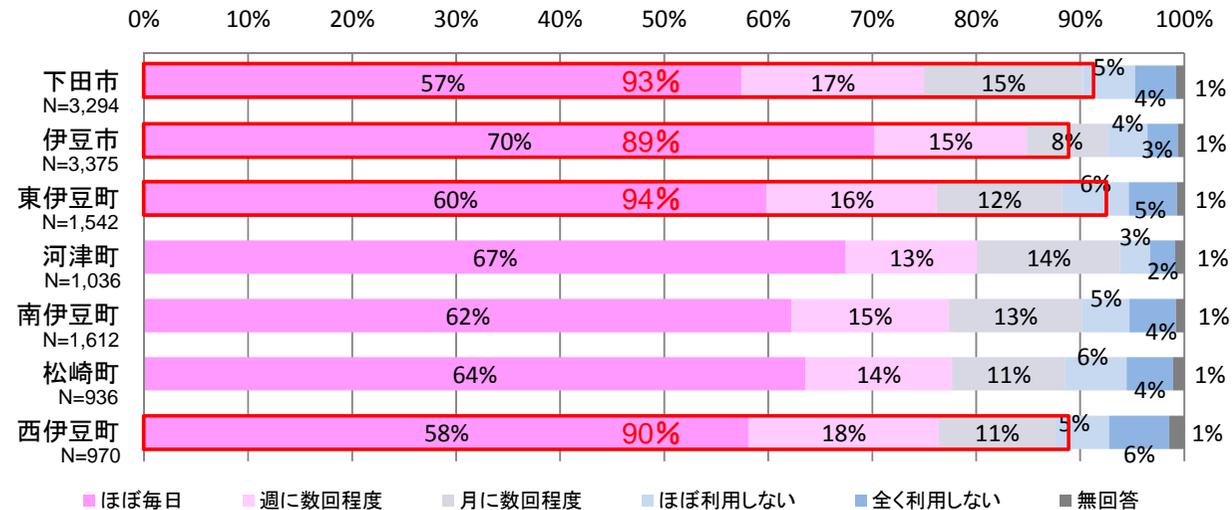
自動車の利用頻度



現在の国道414号(天城湯ヶ島～河津)の利用目的



住所(市町村)別利用頻度



1. 第1回意見聴取の結果

3)道路の課題①

- いずれの交通課題に対しても、下田市、河津町、南伊豆町の課題認識の高さが顕著。
- 「①災害時のルート確保」、「③医療施設への所要時間」に対しては、上記3市町の約9割の方が課題と認識。
- 「④観光期渋滞」に対しては、伊豆市も課題認識が高い。

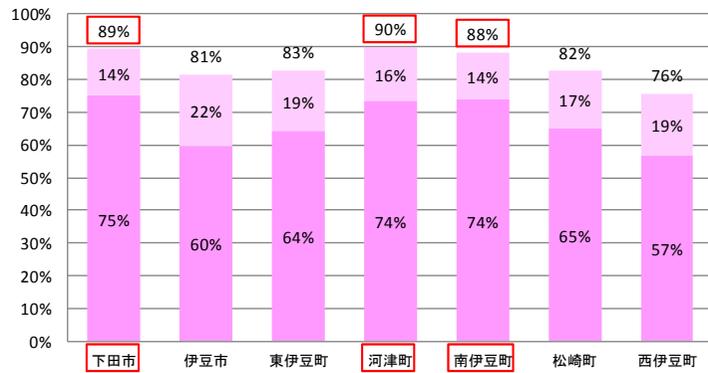
市町別道路課題(住民)

凡例

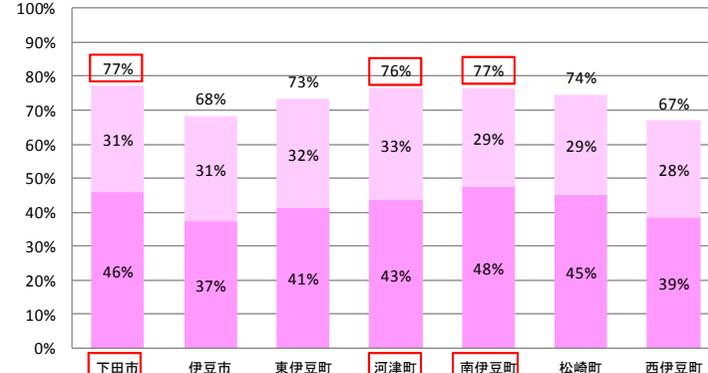
■ そう思う ■ ややそう思う

	下田市	伊豆市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	合計
N全体	3,294	3,375	1,542	1,036	1,612	936	970	12,765

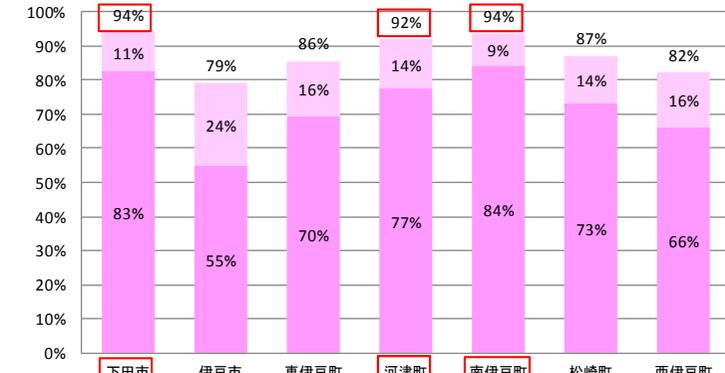
①災害時のルート確保



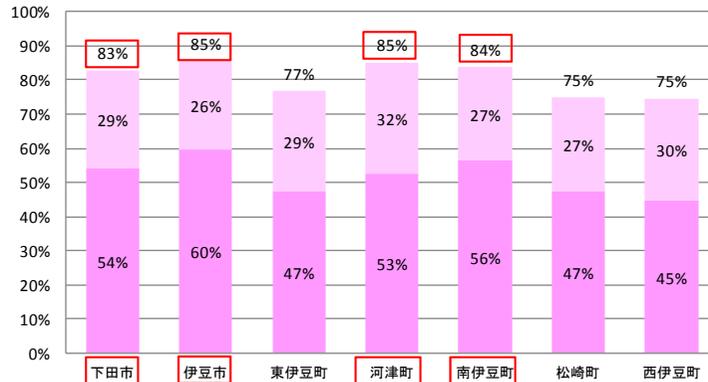
②通行止めの頻発



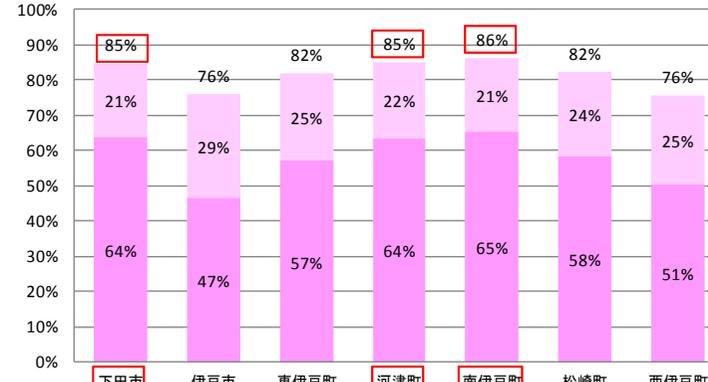
③医療施設への所要時間



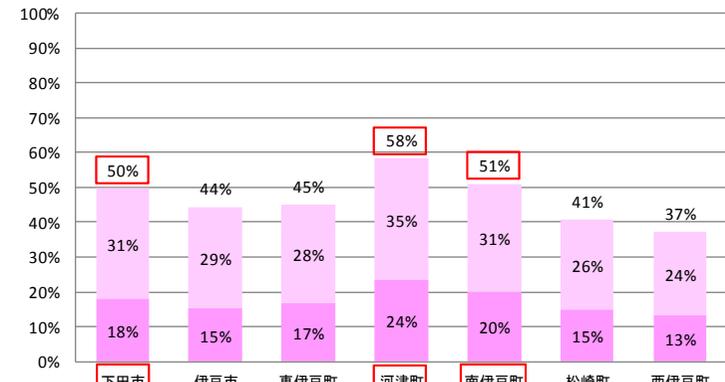
④観光期渋滞



⑤線形不良



⑥交通事故



- ①地震や津波などの災害が発生した際に、救援ルートや物資輸送ルートの確保に懸念がある
- ②大雨や土砂ずり、倒木による通行止めが多い
- ③高度な医療ができる順天堂大学静岡病院や沼津市立病院まで遠く時間がかかる
- ④観光期の渋滞がひどい

- ⑤急カーブ、急な坂、道路幅が狭いなどの箇所が多く、走りづらい
- ⑥交通事故が多い
- ⑦その他(自由回答)

1. 第1回意見聴取の結果

3)道路の課題②

- ほとんどの交通課題に対して、「業務」目的の方の課題認識が高い。
- 「②通行止めの頻発」「③医療施設への所要時間」「⑤線形不良」に対しては「通院」目的の方の認識が高い。
- 「④観光期渋滞」に対しては「通勤・通学」目的の方の認識も高い。

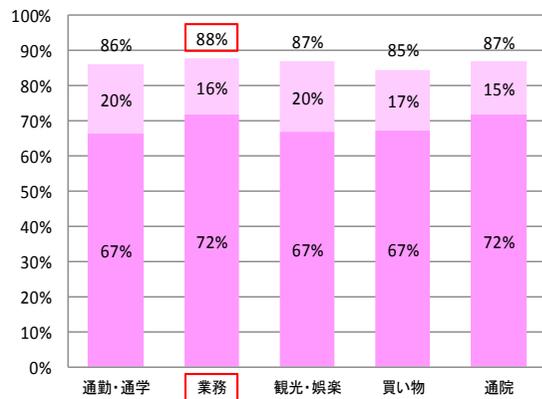
目的別道路課題(住民)

凡例

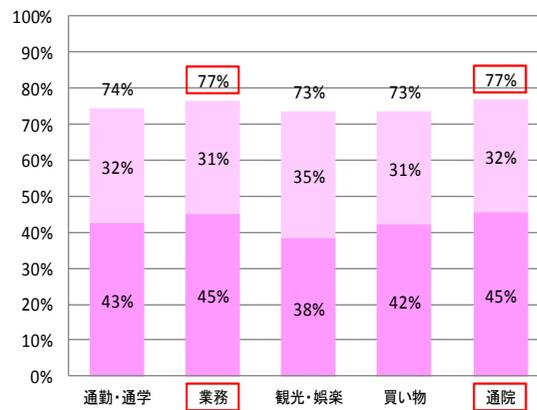
- そう思う
- ややそう思う

	通勤・通学	業務	観光・娯楽	買い物	通院	合計
N全体	2,706	1,578	986	2,363	1,141	8,774

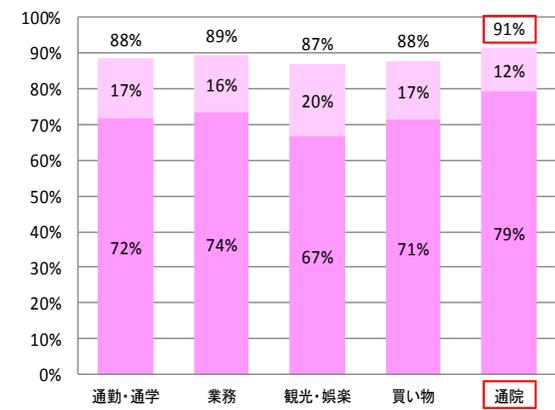
①災害時のルート確保



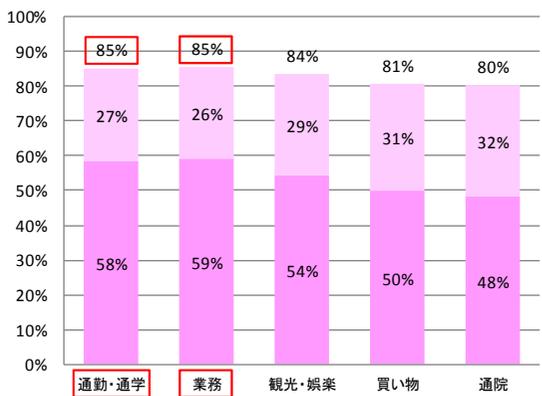
②通行止めの頻発



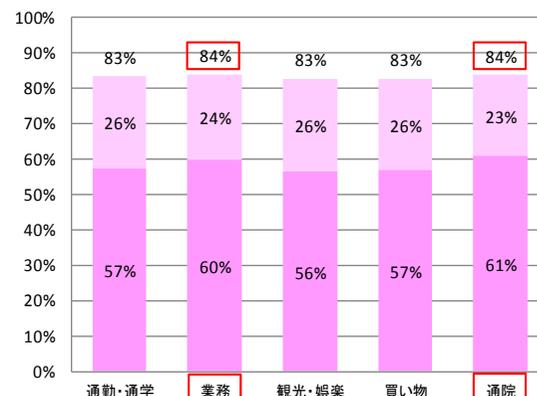
③医療施設への所要時間



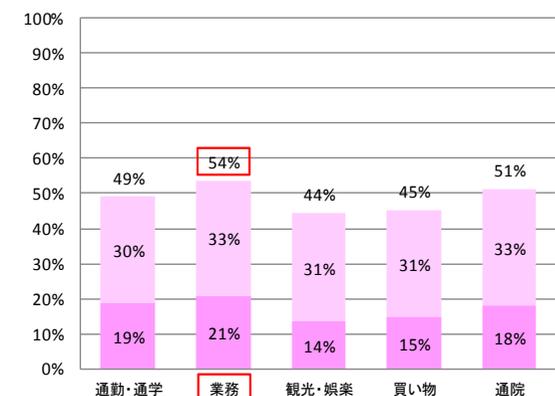
④観光期渋滞



⑤線形不良



⑥交通事故



- ①地震や津波などの災害が発生した際に、救援ルートや物資輸送ルートの確保に懸念がある
- ②大雨や土砂くずれ、倒木による通行止めが多い
- ③高度な医療ができる順天堂大学静岡病院や沼津市立病院まで遠く時間がかかる
- ④観光期の渋滞がひどい

- ⑤急カーブ、急な坂、道路幅が狭いなどの箇所が多く、走りづらい
- ⑥交通事故が多い
- ⑦その他(自由回答)

1. 第1回意見聴取の結果

4)道路に求められる機能・役割①

■市町別に見ると、特に下田市、河津町、南伊豆町の方は、いずれの道路機能も必要と思われる。

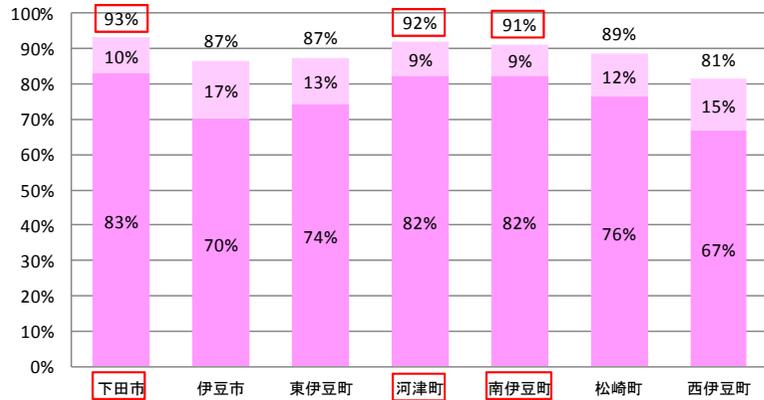
市町別求められる道路機能(住民)

凡例

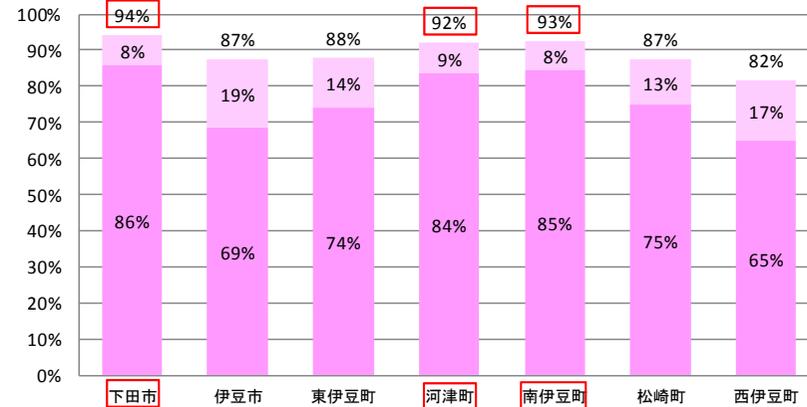
■ そう思う ■ ややそう思う

	下田市	伊豆市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	合計
N全体	3,294	3,375	1,542	1,036	1,612	936	970	12,765

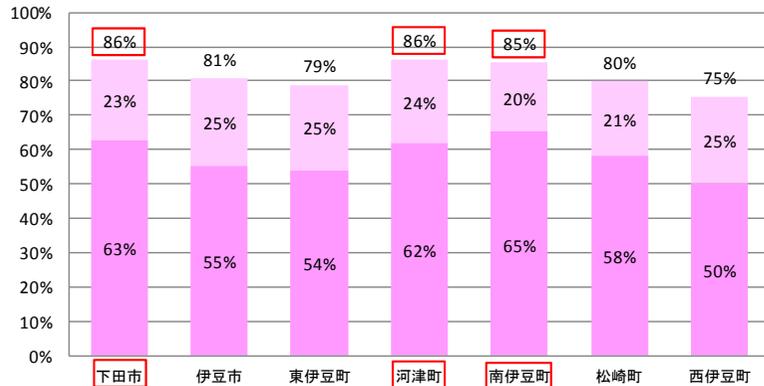
①道路ネットワークの確保



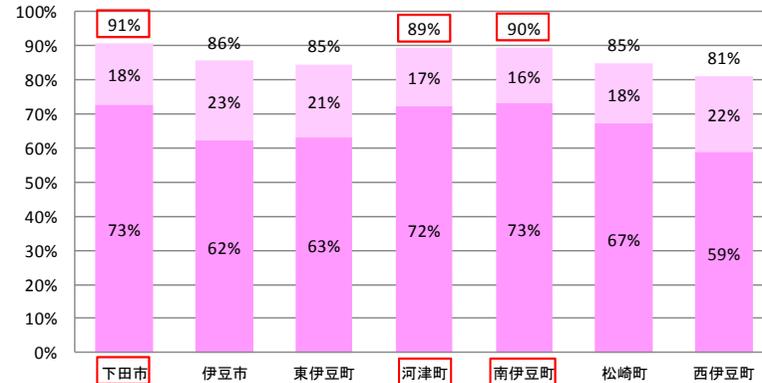
②救急搬送時間の短縮



③観光期の円滑移動



④安全・快適な走行



- ①災害時に安全・確実に機能する道路ネットワークが確保されること
- ②救急病院への移動や広域的な救急搬送が短時間にできること
- ③観光客が円滑に移動できること

- ④安全・快適に走行できること
- ⑤その他(自由回答)

1. 第1回意見聴取の結果

4)道路に求められる機能・役割②

- 全体的に、いずれの目的の方も、全ての道路機能について、高い割合で重要とされている。
- 「①道路ネットワークの確保」は「観光・娯楽」目的の方の割合が最も高く、「②救急搬送時間の短縮」は「通院」目的の方、「③観光期の円滑移動」は「観光・娯楽」目的の方、「④安全・快適な走行」は「通勤・通学」目的の方の割合が最も高い。

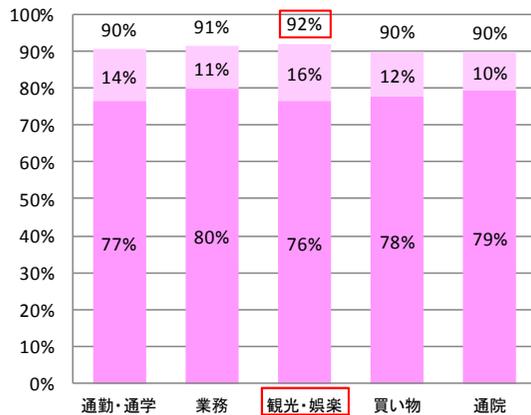
目的別求められる道路機能(住民)

凡例

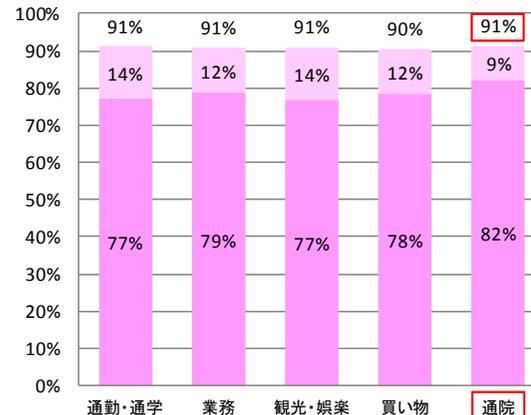
■ そう思う ■ ややそう思う

	通勤・通学	業務	観光・娯楽	買い物	通院	合計
N全体	2,706	1,578	986	2,363	1,141	8,774

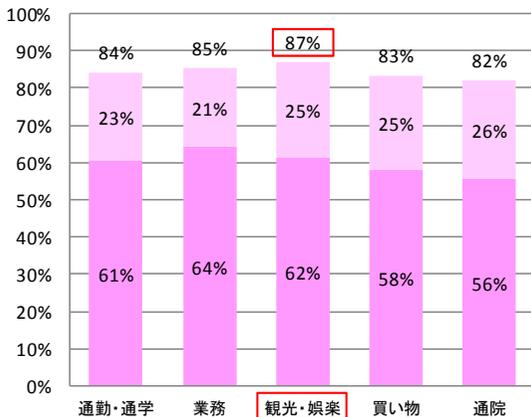
①道路ネットワークの確保



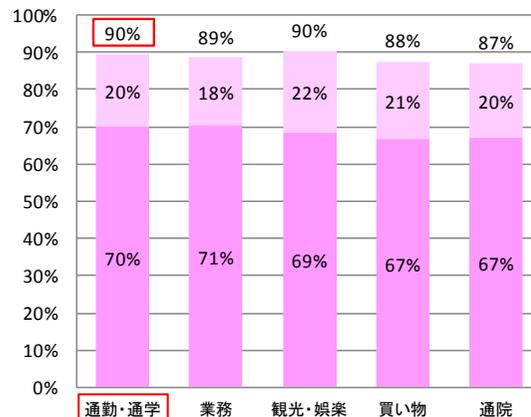
②救急搬送時間の短縮



③観光期の円滑移動



④安全・快適な走行



- ①災害時に安全・確実に機能する道路ネットワークが確保されること
- ②救急病院への移動や広域的な救急搬送が短時間にできること
- ③観光客が円滑に移動できること
- ④安全・快適に走行できること
- ⑤その他(自由回答)

2. 第2回意見聴取の調査票(案)

伊豆縦貫自動車道(天城湯ケ島～河津)の計画に関する 第2回アンケート

本アンケートは、伊豆縦貫自動車道(天城湯ケ島～河津)の計画にあたり、皆さまの生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆さまのご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。

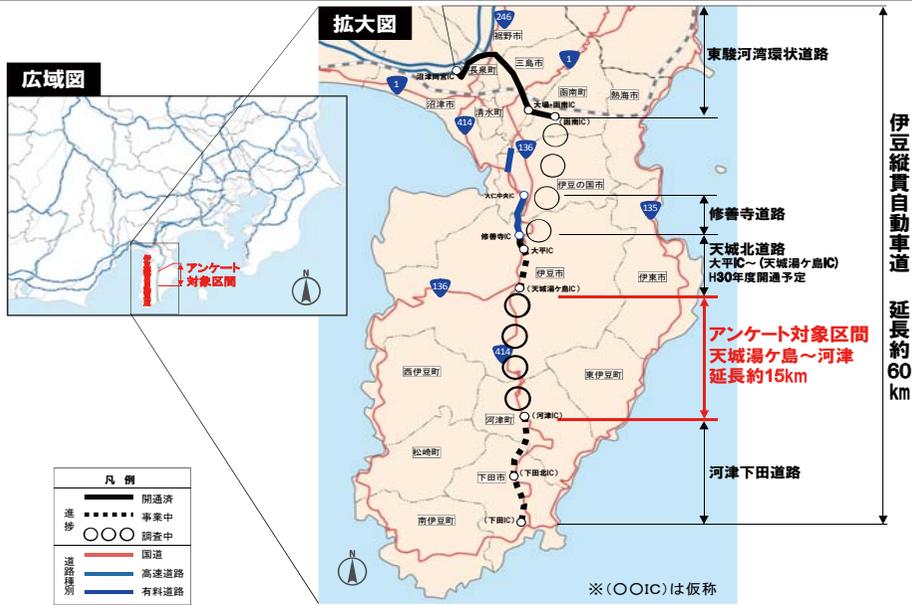
本アンケートは全2回行い、2回目となる本調査では、伊豆縦貫自動車道(天城湯ケ島～河津)について、対策案(ルート帯案)を検討する際に、配慮すべき(重要)と思う事項について、ご意見を伺いたく、ご協力をお願いいたします。

回答いただいた内容は、国土交通省沼津河川国道事務所で集計を行います。

■伊豆縦貫自動車道は、延長約60kmの高規格幹線道路です。

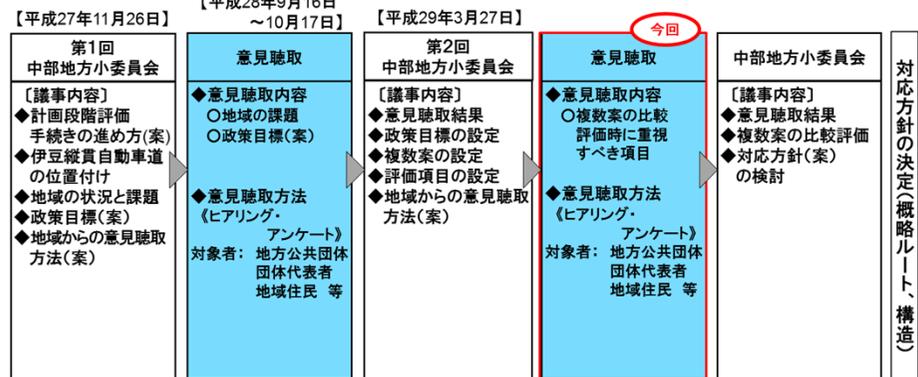
- 伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島の骨格を形成し、地域の「命の道」となる延長約60kmの高規格幹線道路です。
- 伊豆縦貫自動車道(天城湯ケ島～河津)は、天城北道路と河津下田道路の間に位置する道路です。

■このアンケートの対象は、天城湯ケ島～河津の区間です。



手続きの流れ

■計画段階評価の流れ ※計画段階評価とは、新規事業採択時評価の前段階において、政策目標を明確化した上で、概ねのルートの位置や基本的な道路構造等の比較・評価を行うもの。



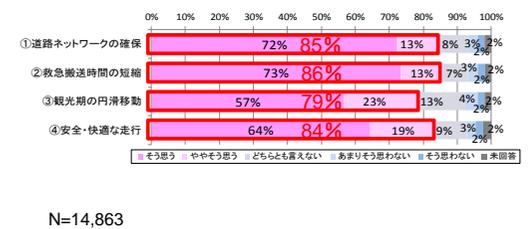
第1回意見聴取にご協力いただきありがとうございました。
意見聴取の結果(概要)を以下のとおり、お知らせします。

■アンケート結果

1. 天城湯ケ島～河津間の国道414号の課題について



2. 天城湯ケ島～河津間の国道414号に求められる機能について



■回答者の約8割の方が「①災害時のルート確保」、「③医療施設への所要時間」、「④観光期渋滞」、「⑤線形不良」を当該区間の道路の課題だと思われる。

■回答者の約8割の方が、「①道路ネットワークの確保」、「②救急搬送時間の短縮」、「③観光期の円滑移動」、「④安全・快適な走行」を当該区間の道路に求める機能・役割だと思われる。

■ヒアリング結果

<道路の課題>

- 災害発生時、国道414号は緊急輸送ルートとして県内外からの支援を受けるための重要な道路であるが、道路が脆弱であるため崖崩れ等の被害により寸断され緊急救急援助隊や自衛隊の進出、救援物資の投入、救急広域搬送に大きな影響を及ぼす。(自衛隊・消防)
- 管轄外医療機関への救急搬送に長時間を要するため、一刻を争う傷病者への精神的な負担と症状悪化のリスクが高まる。(消防)
- 河津桜ツアーに関連するツアーは、周辺のイチゴ狩りや雛のつるし飾りまつりが組まれているが、渋滞によって桜以外の行程がキャンセルされることがある。(旅館組合)
- 天城峠付近の道路勾配やカーブの曲率がきつく、スピードが出せない。冬季は、雪・凍結により通行が困難。(病院・観光協会・渋谷区)

<道路に求められる機能・役割>

- 相模トラフ、南海トラフ、首都直下地震などの地震の際に、自治体間の相互支援を迅速に行うことができるようになると思う。(自治体)
- 救急搬送の時間短縮で、救える命が増える。(警察・病院・観光協会・伊豆市他)
- 自動車移動の時間が読めると、「観光ツアーに組みやすい」「産業が進展しやすい」「人口が張り付きやすい」等のメリットがある。(山梨県・観光協会)
- 揺れによる農作物の傷み等により損失が減るとともに、農業資材や肥料の運搬コスト等も押さえられると思う。(農協)

皆さまからいただいたご意見を踏まえた政策目標に対する案を
次のように立案しました。

将来像を踏まえた道路に求められる機能・役割と政策目標

【政策目標】

- 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 救急医療施設等への速達性・確実性の向上
- 高速ネットワークの確保による観光振興の支援

【意見聴取で確認された道路の機能・役割】

- 災害時の安全・確実な道路ネットワークの確保
- 短時間の救急病院への移動や広域的な救急搬送
- 観光交流の促進・快適な走行の確保

※政策目標の策定にあたっては、住民、団体、道路利用者等からの意見を反映し決定

政策目標を達成するために考えられる対策案

《配慮すべきポイント》
自然環境の保全、生活環境への配慮、経済性への配慮



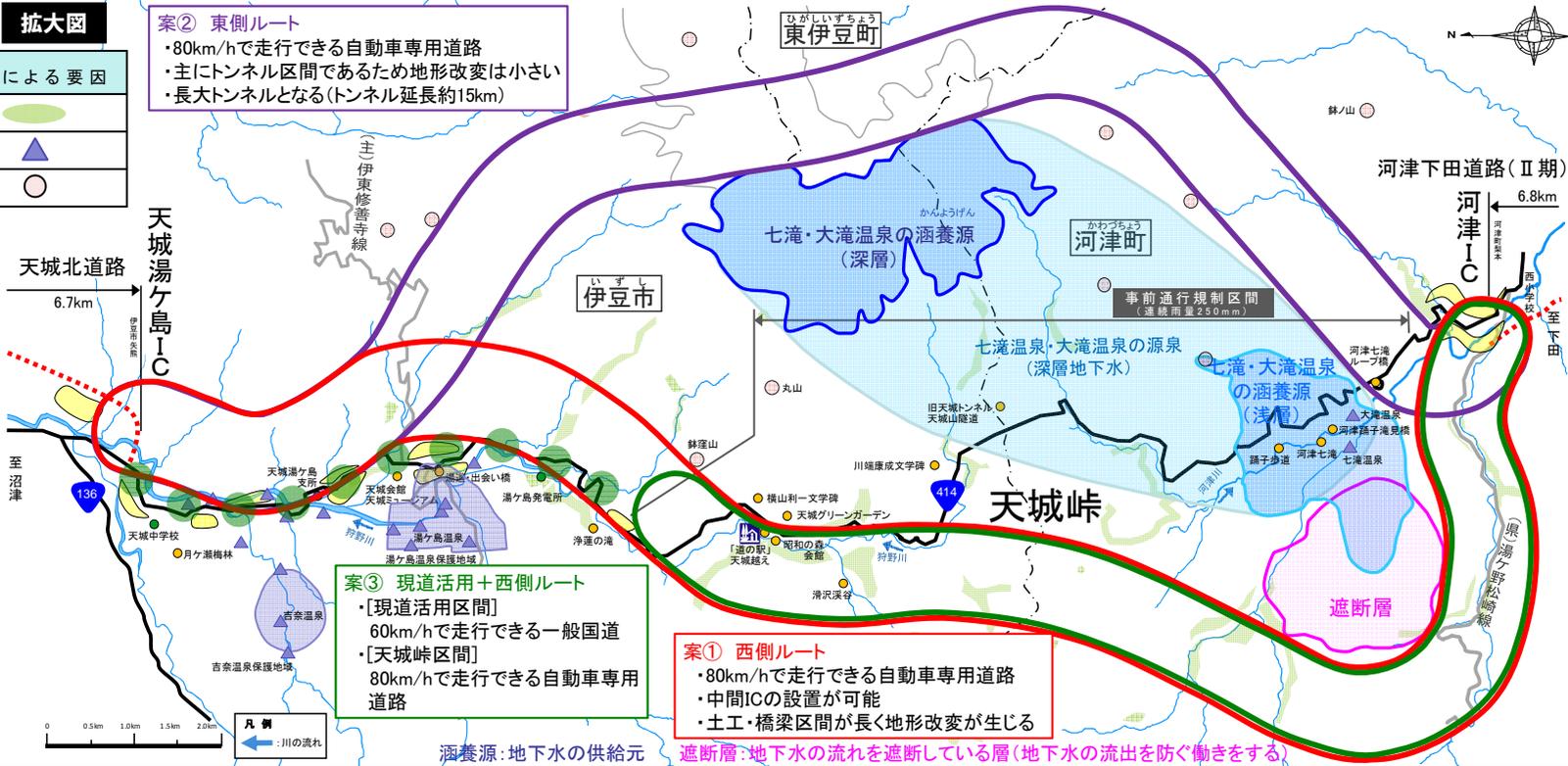
地域の課題を解決するために、以下のような対策案（3つの比較案）を検討しています。
皆様のご意見をお聴かせください。

拡大図

案② 東側ルート
 ・80km/hで走行できる自動車専用道路
 ・主にトンネル区間であるため地形改変は小さい
 ・長大トンネルとなる(トンネル延長約15km)

案③ 現道活用+西側ルート
 ・[現道活用区間]
 60km/hで走行できる一般国道
 ・[天城峠区間]
 80km/hで走行できる自動車専用道路

案① 西側ルート
 ・80km/hで走行できる自動車専用道路
 ・中間ICの設置が可能
 ・土工・橋梁区間が長く地形改変が生じる



社会状況による要因		自然的状況による要因	
・起終点:	・集落・市街地:	・わさび田:	
・国道:	・公共施設:	・温泉源:	
・主要地方道・県道:	・観光施設:	・火山、火口:	

比較ルート帯(案)凡例	
	案① 西側ルート
	案② 東側ルート
	案③ 現道活用+西側ルート

広域図



各ルート帯案の比較表

評価項目		案①:西側ルート	案②:東側ルート	案③:現道活用+西側ルート
ルート帯概要	概要	80km/hで走行できる自動車専用道路	80km/hで走行できる自動車専用道路	現道を活用しながら60km/hで走行できる一般道路 + 80km/hで走行できる自動車専用道路
	延長	約20km	約20km	約20km
災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害	事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 危険物積載車両制限なし	事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 長大トンネルで危険物積載車両制限がある	事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 危険物積載車両制限なし
	防災	現道国道414号の代替路として緊急輸送ネットワークの構築に寄与する	現道国道414号の代替路として緊急輸送ネットワークの構築に寄与する	現道活用区間では、現道国道414号の代替路が確保されない
	医療	救急医療施設等への速達性、確実性に優れる	救急医療施設等への速達性、確実性に優れる	案①、案②に比べて救急医療施設等への速達性、確実性に劣る
救急医療施設等への速達性、確実性の確保	安全性	急カーブ箇所が全て解消される	急カーブ箇所が全て解消される	急カーブ箇所が全て解消される
	観光産業	浄運の滝等の観光施設にアクセスしやすい	案①に比べて浄運の滝等の観光施設にアクセスしにくい	浄運の滝等の観光施設にアクセスしやすい
高速ネットワークの確保による観光振興の支援	快適性	自動車専用道路であるため速達性に優れる	自動車専用道路であるため速達性に優れる	案①、案②に比べて、速達性に劣る
	温泉	温泉影響範囲を回避しているため影響がない	温泉影響範囲を回避しているため影響がない	温泉影響範囲を回避しているため影響がない
自然環境の保全	景観	案②に比べて地形改変が大きい	トンネル区間がほとんどであり地形改変が小さい	案②に比べて地形改変が大きい
	生活環境への配慮	集落への影響が小さい	集落への影響が小さい	案①、案②に比べて、現道活用区間において、集落への影響が大きい
経済性への配慮	約1,300~1,500億円	約1,400~1,600億円	約1,100~1,300億円	

質問事項

■質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

※別紙に示した「各ルート帯案の比較」及び「各ルート帯案の比較表」を参考にお答えください。
質問1 この地域(天城湯ヶ島~河津)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことはなんですか。
 以下の①~⑩の項目について5段階評価してください。

<5段階評価>

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

- ① 全ての車が通行できることが重要
- ② 災害時にも通行ができることが重要
- ③ 救急病院へ早く到達できることが重要
- ④ 観光施設や集落に立ち寄りやすいことが重要
- ⑤ 観光施設や集落に早く到達できることが重要
- ⑥ 温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要
- ⑦ 地形改変が少なく、景観への配慮がなされていることが重要
- ⑧ 工事中の地域への影響が少ないことが重要
- ⑨ 整備費用が安いことが重要
- ⑩ その他(自由回答)

質問2 天城湯ヶ島~河津間の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

回答用の郵便はがきの記入例

- 単一回答の設問は、あてはまる番号を1つだけチェック(☑)してください。
- Q5 は5段階評価の質問です。それぞれの項目についてつずつ〇(マル)を付けてください。
- 自由回答の設問やその他の選択肢をチェックした場合は、具体的な内容を回答してください。

表面

郵便はがき

〒 410-8567

静岡県沼津市下香貫外原3244-2
国土交通省沼津河川国道事務所
調査第二課 行

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島~河津)に関するアンケート
あなた自身についてお聞かせください(Q1~Q4)。

住所	<input checked="" type="checkbox"/> 1: 下田市(白浜) <input type="checkbox"/> 2: 伊豆市() <input type="checkbox"/> 3: 東伊豆町() <input type="checkbox"/> 4: 河津町() <input type="checkbox"/> 5: 西伊豆町() <input type="checkbox"/> 6: 修善寺町() <input type="checkbox"/> 7: 西伊豆町()
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 1: 男性 <input type="checkbox"/> 2: 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 1: 19歳以下 <input type="checkbox"/> 2: 20代 <input type="checkbox"/> 3: 30代 <input type="checkbox"/> 4: 40代 <input type="checkbox"/> 5: 50代 <input type="checkbox"/> 6: 60代 <input type="checkbox"/> 7: 70歳以上
自転車利用	<input checked="" type="checkbox"/> 1: ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 2: 週に数回程度 <input type="checkbox"/> 3: 月に数回程度 <input type="checkbox"/> 4: ほぼ利用しない <input type="checkbox"/> 5: 全く利用しない
利用目的	<input type="checkbox"/> 1: 通勤・通学 <input checked="" type="checkbox"/> 2: 乗務 <input type="checkbox"/> 3: 観光・娯楽 <input type="checkbox"/> 4: 買い物 <input type="checkbox"/> 5: 通院等 <input type="checkbox"/> 6: その他
目的地	(静岡県) 静岡市() 静岡市() (伊豆市) 伊豆市() 伊豆市()

- □にはレ点をご記入下さい。
- 「住所」の()内には、町字名を記入して下さい。
(例: 下田市(白浜)、伊豆市(修善寺))
- その他を選択した場合は、____に詳細をご記入下さい。

裏面

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

Q5 この地域(天城湯ヶ島~河津)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことはなんですか。
以下の①~⑨の項目について5段階評価してください。
※別紙に示した「各ルート帯案の比較」及び「各ルート帯案の比較表」を参考にお願いします。

<5段階評価>
5: そう思う 4: ややそう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: そう思わない

交通課題	あなたの評価の程度				
①全ての車が通行できることが重要	5	4	3	2	1
②災害時にも通行ができることが重要	5	4	3	2	1
③救急病院へ早く到達できることが重要	5	4	3	2	1
④観光施設や集落に立ち寄りやすいことが重要	5	4	3	2	1
⑤観光施設や集落に早く到達できることが重要	5	4	3	2	1
⑥温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要	5	4	3	2	1
⑦地形変化が少なく、景観への配慮がなされていることが重要	5	4	3	2	1
⑧工事中の地域への影響が少ないことが重要	5	4	3	2	1
⑨整備費用が安いことが重要	5	4	3	2	1

※その他(自由回答)

Q6 天城湯ヶ島~河津間の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

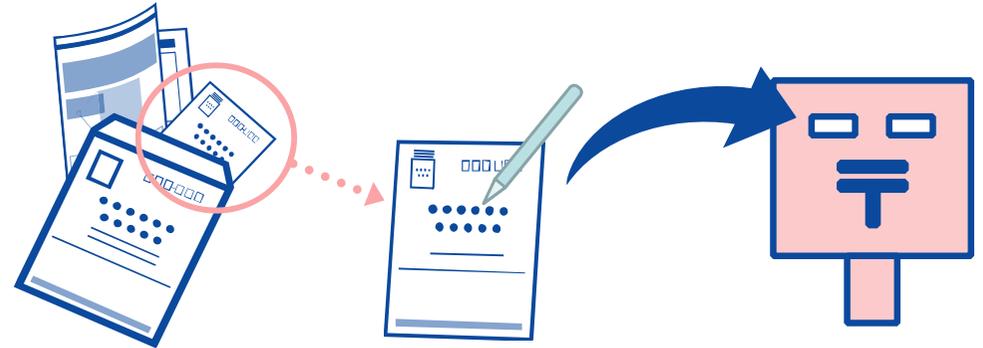
ご協力ありがとうございました。

- 該当する数字を丸で囲んで下さい。
- その他の重要事項がありましたらご記入下さい。
- ご自由にご意見をお書き下さい。

ルート帯案の重要事項について、地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

地域の意見聴取の回答方法

- 回答は同封された回答用の郵便はがきにご記入ください。
- 回答用の郵便はがきは、お近くのポストへ



実施期間

平成〇年〇月〇日(〇)まで

※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ先



国土交通省 中部地方整備局
沼津河川国道事務所 調査第二課

〒410-8567 静岡県沼津市下香貫外原3244-2

電話: TEL(055)934-2010(直通)

受付時間: 月曜日~金曜日(土日祝祭日を除く)9:00~17:00

ホームページ: <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>

伊豆地域(天城湯ヶ島～河津)の状況と課題

南海トラフ巨大地震への備えが不十分

- 伊豆地域沿岸部では、高確率で発生が想定されている南海トラフ巨大地震等の津波(推定津波高さ5~33m)により浸水が想定
- 内陸部の国道414号では、緊急輸送が可能なレベルの復旧に1週間以上を要する



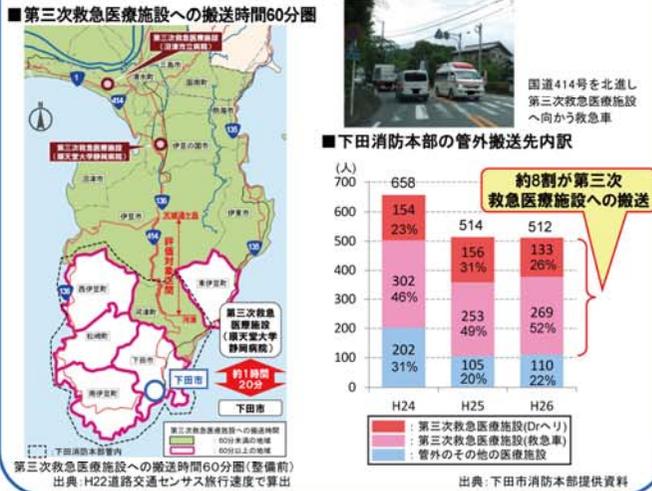
大雨や土砂くずれによる通行止めが頻発

- 伊豆地域の緊急輸送路には異常気象時事前通行規制区間(連続雨量・積雪)が存在
- 国道414号では大雨や土砂くずれ・倒木による通行止めが過去10年間で計32回約1,700時間発生



高次医療施設への搬送に長時間を要する

- 伊豆地域南部には第三次救急医療施設が無い為、下田消防本部の管外搬送のうち約8割が伊豆地域北部の第三次救急医療施設への搬送
- 伊豆地域南部から伊豆地域北部の第三次救急医療施設への救急搬送には、60分以上の時間を要する



伊豆地域南部の観光産業が停滞

- 伊豆地域の交通網は、鉄道網が限定的で長距離バス網も乏しいため、観光時の移動手段の約8割は自動車を利用
- 観光期の交通集中により、主要な路線において著しい渋滞が発生
- 伊豆地域の観光交流客数は、北部は増加傾向にあるものの、南部は近年減少傾向



カーブや急な坂で走りづらい道路

- 国道414号には、平面および縦断の線形不良区間や幅員不足区間が多く走行性に課題
- 特に、河津町内には顕著な速度低下を生じさせる河津七滝ループ橋(R=40m)やヘアピンカーブ(R=25m)が存在



重大な交通事故が多発

- 線形不良区間が連続する伊豆市湯ヶ島～河津町下佐ヶ野間は、死亡・重大事故に直結しやすい「正面衝突」や「車両単独」事故の比率が高い

